

知の泉

# Castalia

第 24 号  
2017.09

東京外国語大学附属図書館報

## ---Contents---

02 館長巻頭言

03 学習相談デスク 5 周年！

-先輩に相談できる場所・先輩だから伝えられること-

05 東京外大でしか読めない雑誌たち

-雑誌を検索してみよう-

07 附属図書館トピックス 平成 28 年度 公開講演会&展示会報告

10 図書館統計

12 図書館活動日誌・編集後記

# 館長巻頭言

附属図書館長 伊東 祐郎

私は、大学のキャンパスの中で最も居心地のよい場所はどこかと問われたら、即座に「図書館」と答えるだろう。学生の頃から図書館で過ごす時間が好きだった。試験日が近づいてくれば、試験対策のために図書館に駆け込んだし、通常の学期期間中であっても、時間があれば、足は自然と図書館に向かう。学生の頃は、ただ単に机と椅子が確保されていれば十分に満足していた。ある意味、居場所となっていたのだ。

この4月に附属図書館長に就任した。その直後、ある図書館の図書展示コーナーで、『日本の最も美しい図書館』（立野井一恵著、エクスナレッジ）が目に入った。日本全国にある41の美しい図書館がカラー写真で紹介されている。その多くは建築的観点から興味がそそられるもので、レトロ、モダン、そして最新のデザインによる図書館が満載で、学生時代のイメージと随分と異なるものだった。これほどまでに建築美に凝るのはどのような意図や背景があるのかと新米図書館長としては気になるところだった。

その後、図書館について調べてみると、現代のよいと言われる図書館には、空間の質の高さ、居心地のよさが求められていることがわかった。まずは、よい空間デザインと快適な家具によって快適性が確保される必要があるとのことだ。なるほどと思った。本学の近くにある国立大学の図書館が最近、改修・増築を行って、館内を案内されたとき、図書館員の自慢は、新たに設けた空間と高級な椅子であった。物理的に余裕があり、かつ精神的にもリラックスできるスペースが今求められていることを改めて感じる。ある私立大学の図書館では、海外からの見学者がひっきりなしであると言う。近年の図書館はその機能や役割のみならず建築美も個性として重要なようである。豊かな日本社会で暮らす我々は、生活の質への関心やこだわりを図書館に求め、館内で知的で豊かな時間を過ごしたいと願うからであろうか。

このような背景からか、最近の図書館の役割の一つに、「場・空間としての図書館」が挙げられるようである。この場合の「場・空間」にはさまざまな意味が含まれ、単純に図書館建築の空間だけを指しているわけではない。近年、整備が進められているラーニング・コモンズは、複数の学生が集い、印刷資料のみならず電子資料も含めたさまざまな資源から得られる情報を用いて討論や議論を進めていく学びの共同体を可能にする「場」を提供するものとなっている。その際に、図書館職員等が、それらを使った学生の自立学習を支援することも期待されている。このような「場」を利用して、学生がレポートや論文の書き方を実践的に学んだり、ライティングセンターの講義や演習に参加したりしている。また、各種検索ツールや大学図書館の使い方のガイダンス、教員による研究会の実施にも対応することで、学生や教職員の知的交流活動の活性化を図る「場」となっているのである。

建物や設備はたやすく変更できるものではない。しかし社会変化の中で、学習や研究活動に即した支援及び教育活動への関与と知の生産への貢献のあり方については、図書館は、資料の収集、蓄積、提供といった基本的役割に加え、時代の要請に応えるべく多機能化することが期待されている。まさに図書館が「場・空間」をどのようにデザインしていくかが問われる時代になってきたのである。これからの図書館の進化・変容に積極的に関わっていきたいと願っている。

# 学習相談デスク 5 周年！

先輩に相談できる場所・先輩だから伝えられること

## 5 周年を迎えました

大学ではレポートやゼミ発表、卒業論文といった課題が出されますが、誰でもすぐにできるものではありませんし、初めてのときはわからないこともたくさんあるのではないのでしょうか。

こうした学習上の悩みを相談できる場所として、2011 年 10 月、図書館に学習相談デスクが誕生しました。2012 年 4 月からは 4 階を改装して新たに開設したラーニング・コモンズ「@ラボ」にリニューアルオープンし、学習支援サービスを行っています。

## 先輩に相談できる - 日々の学習相談 -

学習相談は、授業期間の平日 12:00～19:00 の間に対応しています。学習方法、文献や情報の探し方、レポート・論文の書き方、プレゼンの方法など、年間 400 件をこえるさまざまな相談を受けています。相談時間の平均は約 30 分ですが、なかには 2 時間を超えることもあります。

相談に対応している大学院生（多言語コンシェルジュ）の専攻言語・分野は多岐にわたるため、相談内容にあった多言語コンシェルジュを見つけられるように、プロフィールと当番表を Web サイトに公開しています。

☞ プロフィール：

<http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/sodan/profile/>

☞ 当番表：

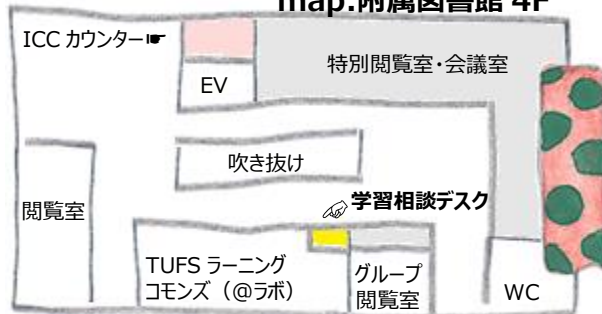
<http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/sodan/toban.html>

### 学習相談デスクとは

場所：附属図書館 4 階@ラボ内

活動：本学の大学院生が多言語コンシェルジュとして、さまざまな言語・分野にわたって学生からの学習相談にのっています。レポート作成関係のガイダンスを開いたり、学習上のお役立ち情報・知識についてまとめた配布物も作成しています。

### map:附属図書館 4F



### どんな相談ができますか？

テーマの決め方、レポートの構成、引用方法、参考文献の探し方、発表の方法など、大学の学習・研究に関わる内容のものなら相談できます。

★その他の相談はこちらへ

☞ コンピュータの使い方がわからない

ICC カウンター @附属図書館 4 階 EV 前

☞ 履修や進路、日常生活の悩み相談

学生相談室 @研究講義棟 1 階

## 先輩だからこそ伝えられる！ガイダンス

学習相談デスクでは、多言語コンシェルジュによるガイダンスも行っています。レポート作成や卒論執筆に関連するものを中心に、2016 年度には7つのテーマで開催しました。

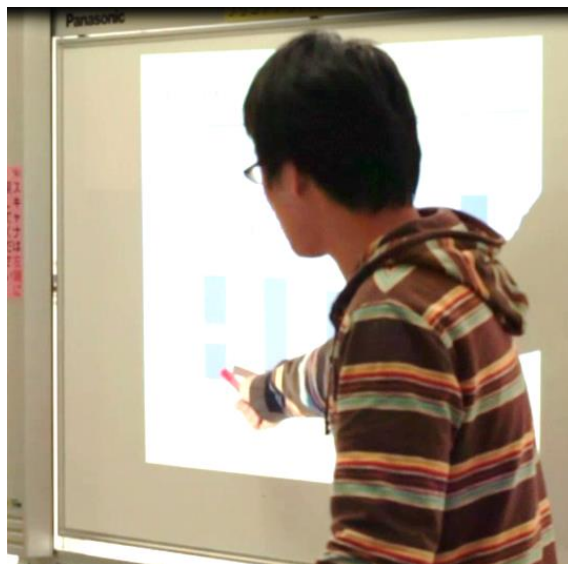
これらのガイダンスでは多言語コンシェルジュ自身の経験や得意分野を活かした「先輩だからこそ伝えられること」を大切にしています。また、前年度と同じテーマを扱う場合でも、前回の参加者の反応や感想を踏まえてブラッシュアップしたり、担当するコンシェルジュによって切り口が変わったり、と進化を続けています。

今までに開催したガイダンスの資料や映像コンテンツは Web サイトからご覧いただけます。なかには再生回数が1,000 回を超えるものもあり、ガイダンスに来られなかった方も参考にされているようです。

また、参考文献の引用方法や、レポートを書くときに便利な Word のショートカット集など、学習に役立つトピックについて簡単にまとめたレジュメも作成しています。これらは、館内（4F エレベーター脇）で配布している他、Web サイトにも掲載しています。

📖 ガイダンスと配りもの：

<http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/sodan/guidance.html>



### これまでのガイダンス

- ・課題図書指定型レポートの書き方
- ・きれいにまとめる！先行研究の整理法
- ・しっかり下準備！論文の章立てと構成
- ・比較政治学者は比較をしない

など

## 学習相談デスクを活用しよう！

“先生に相談するにはハードルが高い”、“ゼミ発表前にちょっと相談したい”、“レポートや卒論をどう進めたらよいかわからない…”。そんなときは、誰かに話すと考えを整理することができたり、作ったものを見てもらうことで、より良く仕上げることができます。ぜひ、学習相談デスクを活用してください。

### 相談した人の声

- ◎ 丁寧に教えてくれる
- ◎ 自分の考えが整理できた
- ◎ 他の分野の話に発見があった

など

# 東京外大でしか読めない雑誌たち

雑誌を検索してみよう！

2016年2月に雑誌の遡及登録が終了し、附属図書館で所蔵している日本語雑誌、中国語雑誌、朝鮮語雑誌、洋雑誌、大学紀要の全てを蔵書検索システム（OPAC）で検索できるようになりました。

今回は、附属図書館にある雑誌のうち、全国でも所蔵館の少ない雑誌をご紹介します。

## 雑誌の検索方法

詳細検索

タイトル:

フルタイトル:

著者名:

所在:

フォーマット:

- ☐ 図書
- ☒ 雑誌
- ☐ 電子ジャーナル
- ☐ 電子ブック

検索

クリア

OPAC 詳細検索の「フォーマット」で『雑誌』を選択して検索します。

またはタイトル等で簡易検索した後に、結果一覧画面の左側に表示される絞り込み機能にある「フォーマット」欄から『雑誌』を選択します。

## 凡例

雑誌タイトル (ヨミ)

ISSN or NCID

言語

所在

L'Avenç

02100150

カタロニア語

書庫2層洋雑誌コーナー（最新号は2F新着雑誌コーナー）



1977年に創刊したカタロニアの雑誌です。歴史を中心に、文学などカタロニア文化について広く記事を掲載しています。当館では1998年から最新号までほぼ欠号なく閲覧することができます。

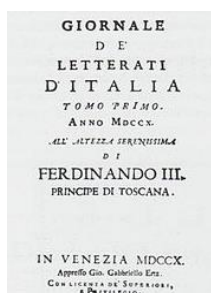
所蔵年次	所蔵巻次	請求記号
1998-2017	221-349,353-435+	雑洋/A/76

Giornale de' letterati d'Italia

AA12690728

イタリア語

書庫1層



1710～1740年に刊行されたイタリアの文芸誌です。歴史・神学・科学などさまざまな分野の評論が掲載され、当時のイタリアの文化運動の基盤として機能していました。電子化もされていますが、国内では当館のみが所蔵しています。

所蔵年次	所蔵巻次	請求記号
1710-1717	1-26, 28	R/080/3



## ᠮᠣᠩᠭᠤᠯ ᠤᠯᠤᠰ ᠤᠨ ᠠᠨᠤᠨᠠᠭᠤᠨ ᠤᠯᠤᠰ = Mongolian studies of China

16731247

モンゴル語

書庫 2 層洋雑誌コーナー (最新号は 2F 新着雑誌コーナー)



本誌は、1954 年に創刊した「ᠮᠣᠩᠭᠤᠯ ᠤᠯᠤᠰ ᠤᠨ ᠠᠨᠤᠨᠠᠭᠤᠨ ᠤᠯᠤᠰ = Mongolian language and literature」の後継誌です。内蒙古自治区の成立後に創刊された最初の学術誌で、前誌から続けて最新号まで閲覧できるのは当館だけです。

所蔵年次	所蔵巻次	請求記号
2005-2017	2005-2016,2017(1-3)+	雑蒙/D/56

## มติชน สดสัปดาห์ (Matichon sutsapdā)

16868196

タイ語

作業室 1 (最新号は 2F 新着雑誌コーナー)



1980 年に創刊された、タイで最も影響力のある雑誌の一つです。最新のニュースの他に、政治経済・国際関係に関する分析などが掲載されています。当館では国内で唯一 1990 年代の号から最新号までを所蔵しています。

所蔵年次	所蔵巻次	請求記号
1990-2017	488-565, 574-650,652-695, 1220-1931+	雑洋/M/9.7

## Bannawag

01162314

イロカノ語

書庫 2 層洋雑誌コーナー (最新号は 2F 新着雑誌コーナー)



1934 年に創刊したフィリピンの雑誌です。イロカノ語文学にとって重要な役割を果たしており、フィリピンのみならずイロカノ語圏で広く読まれています。最新号に至るまで本誌を所蔵しているのは国内でも当館だけです。

所蔵年次	所蔵巻次	請求記号
1993-2017	58,59(4-26,28-52),60-64,65(1-15,17-52),66-81,82(1-39)	雑洋/B/1.55

附属図書館では 2017 年現在、日本を含め世界各地で発行された約 8,000 タイトルの雑誌を所蔵しています。今回ご紹介したもの以外にも、当館でしか見つからないような雑誌がたくさんあります。専攻する言語、興味のある地域の雑誌を見つけたら、ぜひ手にとってご覧ください。

## 遡及登録ニュース

★諸岡文庫 (中国語関係コレクション約 8300 冊) : 全点 OPAC で検索できるようになりました。

★旧分類コレクション (1962 年 4 月以前受入の図書館蔵書) : 書庫 1 層旧分類コーナー配置の資料について、OPAC への登録作業を進めています。

公開講演会

池上彰と考える“世界”を学ぶ意味  
-世界から日本へ、日本から世界へ-

ジャーナリスト 池上彰氏

附属図書館の活動のなかでも、社会貢献のひとつとして位置付けて平成 12 年度から毎年開催している公開講演会。平成 28 年度は、ジャーナリストの池上彰氏に上記タイトルで講演いただきました。

【日時】平成 28 年 12 月 15 日（木） 17 時 00 分～18 時 30 分

【場所】東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウスホール

英国の EU 離脱表明や米国のトランプ新大統領の誕生など、大きく揺れた 2016 年の国際情勢。わかりやすい解説でお茶の間でもお馴染みの「池上さん」から、取材や報道の現場での豊富なご経験に裏打ちされたお話が伺える機会ということで関心も高く、学内外からの参加者は会場の定員 450 名を大きく超えて 574 名、講演映像を配信する教室を用意するなど、盛況となりました。

展示会報告 1

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ氏の著作展示

2015 年ノーベル文学賞を受賞されたベラルーシのジャーナリスト、スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ氏に、本学から名誉博士号が授与されました。これに合わせ、附属図書館ではアレクシエーヴィチ氏の著作展示（ロシア語・ウクライナ語・日本語訳）を行いました。

【会期】平成 28 年 11 月 28 日(月)～平成 28 年 12 月 2 日(金)

【場所】附属図書館 2 階閲覧室（中央階段付近）



【展示写真 1】

著作は民の視点に立って、戦争の英雄神話を打ち壊すものが多いですが<sup>i)</sup>、展示中もほとんどの和書は貸出中で、学生の関心の高さがうかがえました。原著の展示が主になりましたが、手に取って読んだりする姿も見られました。

展示資料のリストは以下の URL で公開しています。

[http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/news/2016/11/\\_1128122.html](http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/news/2016/11/_1128122.html)

i) スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ著、三浦みどり訳(2016)  
「著者紹介」『ボタン穴から見た戦争』、岩波書店  
(配架：3F 閲覧室、請求記号：A/238/735664)

## 展示会報告 2

### 旅するチベット語 ― 縁は異なるものの文字は乗り物 ―

チベット語は 1300 年前に文字を持って以来、時空を超えた旅を続け、異文化との邂逅を果たしてきました。17 回目となる今回の展示では、チベットで初めて編纂された辞書からチベット現代文学の作品に至るまで、チベットとチベット語の歴史を体現するさまざまな資料を紹介しました。

【会期】平成 28 年 11 月 21 日(月)～12 月 26 日(月)

【場所】附属図書館 2 階ギャラリー

【選書・解説執筆】星 泉（本学アジア・アフリカ言語文化研究所教員）

チベットは、中国をはじめとする周辺の国々と政治的・経済的・宗教的・文化的な関わりを持っていました。中国の正史や地誌に記録がある他、チベットを訪れた留学生によりチベット語辞典が作られました。また 17 世紀から 18 世紀にチベットを訪れたカトリックの宣教師たちもチベットに関する記録を残し、チベット語辞書を作っています。

20 世紀半ばには文化大革命による厳冬の時代がありましたが、1970 年代に入り文化大革命が終焉を迎えると、口承文芸などのチベット語書籍の出版が盛んになりました。また文芸誌も続々と創刊され、ペンジョルやトンドゥプジャをはじめ、多様なバックグラウンドを持つ作家達が登場し、チベット現代文学が形づくられていきました。

2000 年代にはヨーロッパを中心とする外国文学のチベット語訳が進む一方、チベット現代文学もさまざまな言語に翻訳されて読まれるようになりました。日本では 2010 年代からチベット現代文学の翻訳紹介が進んでおり、附属図書館でも多くの作品を所蔵しています。



【展示資料 1】『衛蔵図識』に記録されたチベット各地の民族衣装



【展示資料 2】『Sernya :  
チベット文学と映画制作の現在』

展示では中国の正史『唐書』にはじまり、さまざまなチベット語辞典、そしてチベット現代文学の作品に至るまで、チベット語の旅路を伝える資料を紹介し、多くの方にご来場・ご好評をいただきました。

また会期中は展示資料に加え、本学アジア・アフリカ言語文化研究所が発行する『Sernya: チベット文学と映画制作の現在』の展示・配布も行いました。

本稿に記載の図書及び展示の詳細は、展示会パンフレットでご確認いただけます。パンフレットは以下の URL で公開しています。

<http://www.tufs.ac.jp/library/guide/shokai/tenji17.pdf>





### 展示会報告 3

## 「東京外国語大学附属図書館で読めるおいしい本」展示

本学の大学祭「外語祭」の期間に合わせ、附属図書館が所蔵する各国の文化を知るためのさまざまな図書から、各国語の料理に関する本 32 冊を集めて、「東京外国語大学附属図書館で読めるおいしい本」展示を行いました。

【会期】平成 28 年 11 月 1 日(火)～11 月 25 日(金)

【場所】附属図書館 2 階閲覧室

当館では、使いやすさを考えて図書を言語ごとに分けて並べています。そこで、普段は別々の場所に配架されている世界各地の料理に関する本を一か所に集めて展示することで、「こんな本があったんだ！」という発見につなげたいと考えました。

請求記号の 2 段目（日本十進分類法による主題）が「383：衣食住の習俗」と「596：食品・料理」の蔵書を言語ごとに調査してから、展示するものを選択したので、職員が日本語・英語以外の言語の蔵書について、現状を知る良い機会にもなりました。

また、閲覧室内にコーナーを設け、自由に本を手にとれる形での展示とし、その場で読んだり、コピーをとったり、貸出もできるようにしました。最終的には、半数の展示資料が貸出され、展示近くのソファでゆっくり本を読む人や、立ち読みをする人の姿も多く見られました。

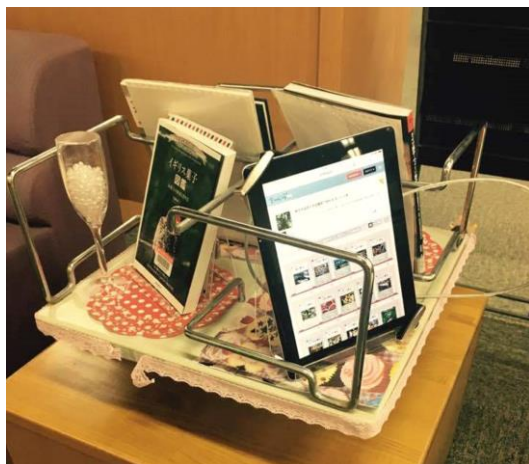
展示資料のリストは以下の URL で公開しています。

<http://www.tufts.ac.jp/blog/is/g/news/2016/11/>



【展示写真 1】

普段は空きスペースになっている階段下を活用しました。  
コピー機も近くあって意外と便利です。



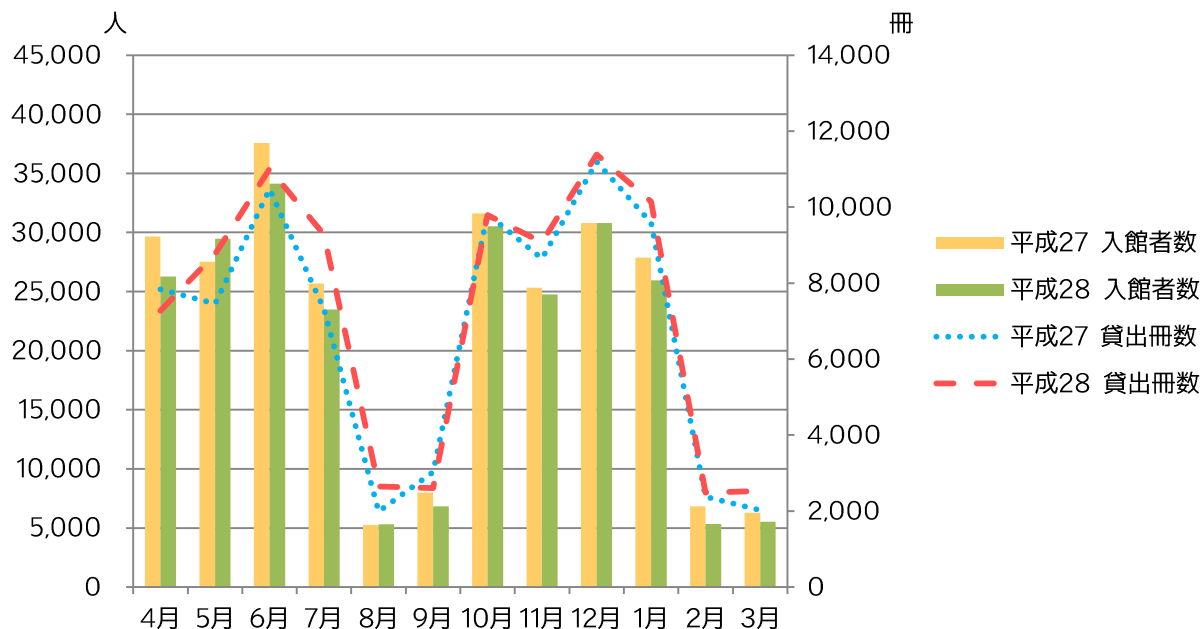
【展示写真 2】

ソファを置いてゆっくり読めるようにしました。  
回転式ラックにはサイズの小さい本を展示しました。

# 図書館統計

## 入館者数・貸出冊数 同月比較

【平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）、平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）】



## 入館者数・貸出冊数・開館日数・開館時間数

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数
4 月	29,653	7,838	26,269	7,269
5 月	27,510	7,462	29,482	8,764
6 月	37,563	10,473	34,121	11,010
7 月	25,672	7,318	23,487	9,276
8 月	5,262	1,993	5,303	2,643
9 月	7,993	3,029	6,818	2,602
10 月	31,606	9,819	30,530	9,796
11 月	25,335	8,650	24,748	9,076
12 月	30,792	11,192	30,797	11,386
1 月	27,869	9,594	25,957	10,144
2 月	6,841	2,379	5,327	2,485
3 月	6,293	2,027	5,522	2,528
合 計	262,389	81,744	248,361	86,979
開館日数	296		294	
開館時間	3,049		2,981	

※平成 27 年度の貸出冊数の数値を修正いたしました。

図書館ホームページではより詳細な内容がご覧いただけます。

« 入館者数 »

[http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei\\_visitors.pdf](http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_visitors.pdf)

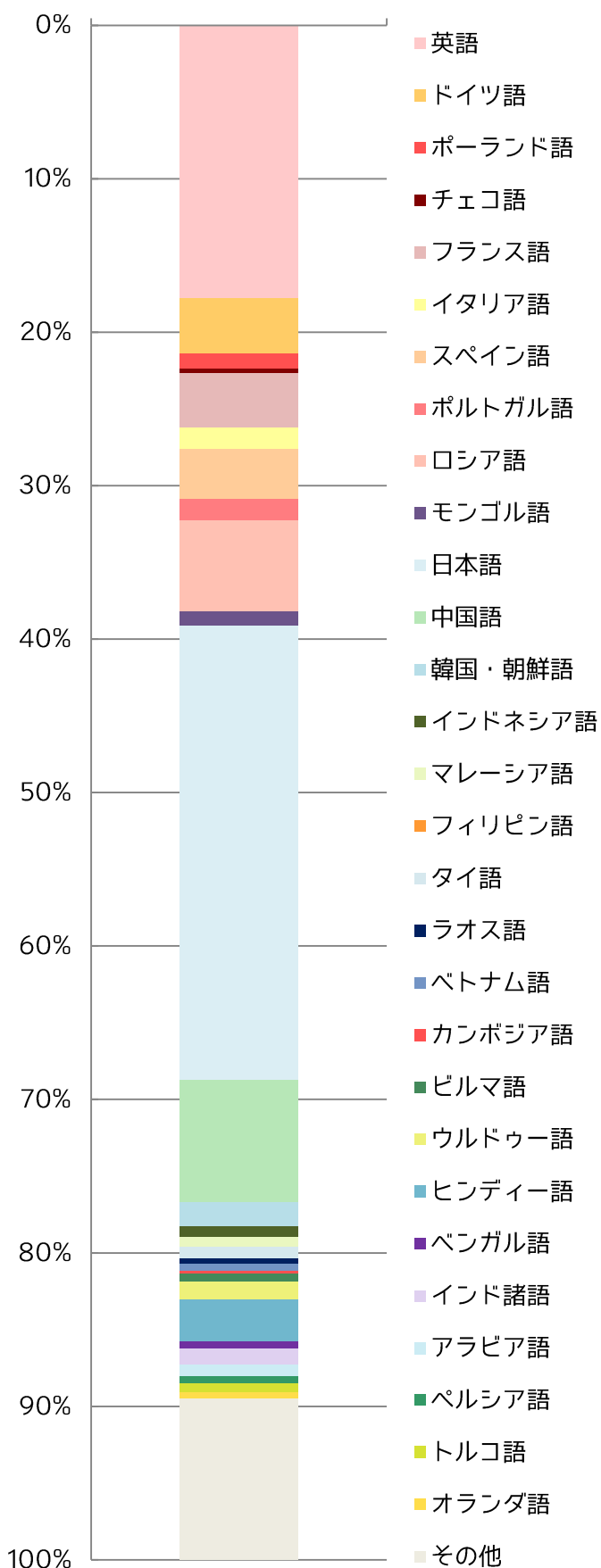
« 貸出冊数 »

[http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei\\_loan.pdf](http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_loan.pdf)

## 附属図書館・言語別所蔵冊数

【平成 29 年 4 月現在】アジア・アフリカ言語文化研究所蔵書は除く

言語名	冊数	割合
英語	128,516	17.80%
ドイツ語	25,904	3.59%
ポーランド語	7,219	1.00%
チェコ語	2,291	0.32%
フランス語	25,195	3.49%
イタリア語	10,204	1.41%
スペイン語	23,431	3.25%
ポルトガル語	10,344	1.43%
ロシア語	42,403	5.87%
モンゴル語	7,063	0.98%
日本語	213,766	29.62%
中国語	57,257	7.93%
韓国・朝鮮語	11,370	1.58%
インドネシア語	4,952	0.69%
マレーシア語	4,437	0.61%
フィリピン語	372	0.05%
タイ語	5,483	0.76%
ラオス語	2,442	0.34%
ベトナム語	3,323	0.46%
カンボジア語	1,374	0.19%
ビルマ語	3,638	0.50%
ウルドゥー語	8,550	1.18%
ヒンディー語	19,645	2.72%
ベンガル語	3,214	0.45%
インド諸語	7,579	1.05%
アラビア語	5,643	0.78%
ペルシア語	3,272	0.45%
トルコ語	4,187	0.58%
オランダ語	2,788	0.39%
その他	75,951	10.52%
合計	721,813	



【活動】

- 4 月 7 日 基礎リテラシー科目附属図書館担当分講義「附属図書館利用案内」（全 2 回 4 月 1 9 日）
- 4 月 8 日 図書館オリエンテーション（全 5 回 ～ 1 5 日）
- 4 月 1 4 日 リクエストガイダンス（全 3 5 回 ～平成 2 9 年 1 月）
- 4 月 2 1 日 基礎リテラシー科目附属図書館担当分演習「図書館検索演習・実習」（全 4 回 4 月 2 6 日・4 月 2 8 日・5 月 1 0 日と計 4 日間）
- 5 月 1 8 日 世界教養科目「日本の出版文化」第 6 回「図書館と書物」担当
- 5 月 2 6 日 総合国際学研究基礎科目附属図書館担当分講義「図書館の学術的利用方法」
- 5 月 3 0 日 学習相談デスクガイダンス「課題図書のあるレポートの書き方」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 6 月 8 日）
- 5 月 3 1 日 学習相談デスクガイダンス「テーマの決め方」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 6 月 9 日）
- 6 月 2 0 日 平成 2 8 年度第 1 回学生用図書選定会
- 6 月 2 5 日 土日拡大開館実施（開館時間を 1 3 : 0 0 から 9 : 0 0 に変更 6 月 2 6 日・7 月 2 日・7 月 3 日と計 4 日間）
- 6 月 2 7 日 図書館ガイダンス（全 6 回 ～ 7 月 1 日）
- 6 月 2 9 日 平成 2 8 年度第 1 回図書館委員会
- 7 月 4 日 学習相談デスクガイダンス「英語レポートの書き方」（多言語コンシェルジュ企画）
- 7 月 1 0 日 オープンキャンパス図書館見学
- 7 月 1 1 日 夏学期集中講義期間の時間外開館実施（～ 8 月 5 日）
- 9 月 3 0 日 図書館館報「Castalia」2 3 号発行（インターネット公開）
- 1 0 月 1 1 日 学習相談デスクガイダンス学部生向け卒論ガイダンス（多言語コンシェルジュ企画）（全 6 回 ～ 1 9 日）
- 1 0 月 2 0 日 平成 2 8 年度第 2 回学生用図書選定会
- 1 1 月 1 9 日 オープンキャンパス図書館見学
- 1 1 月 1 日 館員企画展示「東京外大図書館で読める「おいしい本」」展示（～ 2 5 日）
- 1 1 月 2 1 日 平成 2 8 年度附属図書館特別展示（「旅するチベット語一縁は異なるもの文字は乗り物」～ 1 2 月 2 6 日）
- 1 1 月 2 8 日 館員企画展示「スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ氏の著作」展示（～ 1 2 月 2 日）
- 1 2 月 1 5 日 平成 2 8 年度附属図書館公開講演会（池上彰氏 名城大学教授・ジャーナリスト）  
「池上彰と考える“世界”を学ぶ意味：世界から日本へ、日本から世界へ」）
- 1 月 7 日 土日拡大開館実施（開館時間を 1 3 : 0 0 から 9 : 0 0 に変更 1 月 8 日と計 2 日間）
- 1 月 1 6 日 平成 2 8 年度第 3 回学生用図書選定会
- 1 月 1 7 日 学習相談デスクガイダンス「比較政治学者は「比較」をしない」（多言語コンシェルジュ企画）
- 3 月 9 日 平成 2 8 年度第 4 回学生用図書選定会
- 3 月 1 3 日 平成 2 8 年度第 2 回図書館委員会

【学外会議・研修等】

- 4 月 1 8 日 国立大学図書館協会東京地区協会総会 2 名参加（於 お茶の水女子大学）
- 6 月 1 8 日 第 6 3 回国立大学図書館協会総会 2 名参加、海外派遣報告に 1 名派遣（於 仙台）
- 6 月 2 3 日 東京西地区大学図書館協議会加盟館会議 2 名参加（於 和光大学）
- 9 月 7 日 第 5 8 回北海道図書館大会 講師 1 名派遣（於 北星学園大学）
- 9 月 1 2 日 平成 2 8 年度国立大学図書館協会東京地区協会・関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナー 講師 1 名派遣、3 名参加（於 東京大学）
- 1 0 月 3 日 漢籍担当職員講習会 1 名参加（於 京都大学 ～ 7 日）
- 1 0 月 1 3 日 TAC 図書館部会合同会議、実務担当者会議 3 名参加（於 津田塾大学）
- 1 0 月 1 6 日 第 1 0 2 回全国図書館大会東京大会 1 名参加（於 青山学院大学）
- 1 1 月 1 6 日 西洋社会科学古典籍資料講習会 1 名参加（於 一橋大学 ～ 1 8 日）
- 1 1 月 2 4 日 TAC 図書館員交流会 2 名参加（於 国際基督教大学）
- 1 1 月 2 9 日 大学図書館職員短期研修 講師 1 名派遣（於 国立情報学研究所）
- 1 2 月 1 9 日 東京西地区大学図書館協議会セミナー 講師 1 名派遣（於 帝京大学）
- 1 月 1 7 日 日本古典籍講習会 1 名参加（於 人間文化研究機構国文学研究資料館、国立国会図書館 ～ 2 0 日）

📖 編集後記

5 周年を迎えた学習相談デスク、ひとまず入学から卒業・進学までという学生生活のサイクルを一巡したことになります。在学中に必ず一度は利用する、といったサービスではないかもしれませんが、履修、レポート、ゼミ発表、卒論など、各学年で直面する学習上の課題について、必要とされる支援を必要とする人に提供できるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。そしてさらに 5 年後の特集記事で取り上げることができたら…

Castalia : 東京外国語大学附属図書館報 第 24 号

2017 年 9 月 30 日発行

発行：東京外国語大学附属図書館 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

電話：042-330-5193 ホームページ：<http://www.tufs.ac.jp/library/index-j.html>